

平成30年度劇場・音楽堂等機能強化推進事業
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)

成果報告書

| | | |
|---------|--------------------|------|
| 団 体 名 | 公益財団法人八尾市文化振興事業団 | |
| 施 設 名 | 八尾市文化会館 | |
| 助成対象活動名 | 公演事業・人材養成事業・普及啓発事業 | |
| 内定額(総額) | 18,478 | (千円) |
| 公演事業 | 13,544 | (千円) |
| 人材養成事業 | 1,324 | (千円) |
| 普及啓発事業 | 3,610 | (千円) |

(2) 平成30年度実施事業一覧

| 【公演事業】 | | | | | |
|----------------|---------------------|--------------|---|----------|-------|
| 番号 | 事業名 | 主な実施日程 | 概要 (演目、主な出演者、スタッフ等) | 入場者・参加者数 | |
| | | 主な実施会場 | | 目標値 | 実績値 |
| 1 | 地域劇場でのトップレベルの芸術体験事業 | 2018年9月24日 他 | 大阪フィルハーモニー交響楽団/劇団文学座/宮田大/桂米園治等米朝一門 | 目標値 | 2,300 |
| | | 大ホール 他 | | 実績値 | 2,518 |
| 2 | 子どもの鑑賞促進事業 | 2019年3月21日 | 京都フィルハーモニー室内合奏団 | 目標値 | 550 |
| | | 小ホール | | 実績値 | 588 |
| 3 | 地域の魅力発信公演事業 | 2018年4月29日 他 | 宮川彬良/Osaka Shion Wind Orchestra/天童よしみ/本間昭光(音楽プロデューサー) 他 | 目標値 | 3,600 |
| | | 大ホール 他 | | 実績値 | 3,898 |
| | | | | 目標値 | |
| | | | | 実績値 | |
| | | | | 目標値 | |
| | | | | 実績値 | |
| | | | | 目標値 | |
| | | | | 実績値 | |
| | | | | 目標値 | |
| | | | | 実績値 | |
| | | | | 目標値 | |
| | | | | 実績値 | |
| | | | | 目標値 | |
| | | | | 実績値 | |
| 平成30年度の目標値、実績値 | | | | 目標値 | 6,450 |
| | | | | 実績値 | 7,004 |

(2) 平成30年度実施事業一覧

| 【人材養成事業】 | | | | | |
|----------------|-------------------|-----------------------|-------------------------------|----------|---------|
| 番号 | 事業名 | 主な実施日程 | 概要 (演目、主な出演者、スタッフ等) | 入場者・参加者数 | |
| | | 主な実施会場 | | 目標値 | 実績値 |
| 1 | 地域の実演芸術団体養成事業 | 2018年12月21日～22日他 | 【作・演出・出演】iaku、サファリ・P | 目標値 | 630 |
| | | 小ホール 他 | | 実績値 | 495 |
| 2 | 地域の次世代実演家養成事業 | 2018年4月22日～2019年3月17日 | 【講師】大阪フィル楽団員、八尾本場河内音頭連盟、山崎美恵鶯 | 目標値 | のべ2,350 |
| | | 大ホール 他 | | 実績値 | のべ2,132 |
| 3 | 地域のボランティアスタッフ養成事業 | 2018年4月11日～2019年3月23日 | 市民ボランティアによる活動を会館職員がファシリテート | 目標値 | のべ300 |
| | | 大ホール 他 | | 実績値 | のべ714 |
| 4 | 大学等との連携 | 2018年9月11日～11月22日 | 相愛大学音楽学部および大学院音楽研究科との連携事業 | 目標値 | 8 |
| | | レセプションホール 他 | | 実績値 | 6 |
| | | | | 目標値 | |
| | | | | 実績値 | |
| | | | | 目標値 | |
| | | | | 実績値 | |
| | | | | 目標値 | |
| | | | | 実績値 | |
| | | | | 目標値 | |
| | | | | 実績値 | |
| | | | | 目標値 | |
| | | | | 実績値 | |
| | | | | 目標値 | |
| | | | | 実績値 | |
| 平成30年度の目標値、実績値 | | | | 目標値 | のべ3,288 |
| | | | | 実績値 | のべ3,347 |

(2) 平成30年度実施事業一覧

| 【普及啓発事業】 | | | | | |
|----------------|---------------|---------------------|--|----------|-------|
| 番号 | 事業名 | 主な実施日程 | 概要 (演目、主な出演者、スタッフ等) | 入場者・参加者数 | |
| | | 主な実施会場 | | 目標値 | 実績値 |
| 1 | 子ども向け舞台芸術促進事業 | 2018年8月22日～23日 他 | 【講師】高杉征司 阪本麻紀 山口茜 会館舞台専門員 | 目標値 | 500 |
| | | 大ホール 他 | | 実績値 | 519 |
| 2 | 芸術文化のリーチ事業 | 2018年10月15日 他 | 【講師】大阪フィル楽団員 劇団文学座劇団員 北村成美 菊池航相愛大学大学院音楽研究科所属学生 | 目標値 | 1,250 |
| | | 八尾市内中学校 他 | | 実績値 | 1,558 |
| 3 | 地域魅力発信事業 | 2018年7月15日 他 | 【出演】八尾市内吹奏楽団体 八尾本場河内音頭連盟 【講師】山中雅志・安福光雄 他 | 目標値 | 3,850 |
| | | 大ホール 他 | | 実績値 | 3,814 |
| 4 | バリアフリー対応 | 2018年9月11日 | 【出演】相愛大学大学院音楽研究科所属学生 | 目標値 | 100 |
| | | レセプションホール | | 実績値 | 50 |
| | | | | 目標値 | |
| | | | | 実績値 | |
| | | | | 目標値 | |
| | | | | 実績値 | |
| | | | | 目標値 | |
| | | | | 実績値 | |
| | | | | 目標値 | |
| | | | | 実績値 | |
| | | | | 目標値 | |
| | | | | 実績値 | |
| | | | | 目標値 | |
| | | | | 実績値 | |
| 平成30年度の目標値、実績値 | | | | 目標値 | 5,700 |
| | | | | 実績値 | 5,941 |

【妥当性】

自己評価

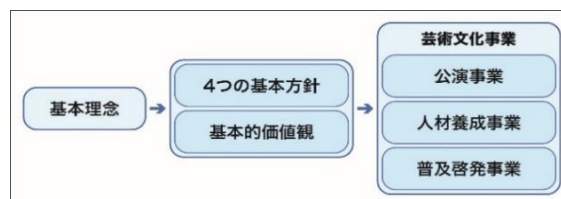
社会的役割（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。（合わせて800字）

＜1. 総括＞達成した。H30年度事業は、当館のミッションおよび地域の特性等に基づいて計画した本助成対象事業27事業（館全体としては37事業335開催数）について、中止・変更なく全ての事業を実施できた。

| | |
|------------|---------|
| 達成した | 100～81% |
| 概ね達成した | 80～61% |
| 中程度達成した | 60～41% |
| あまり達成しなかった | 40～21% |
| 達成しなかった | 20～0% |

＜2. 事業が適切に組み立てられていたか＞

事業の組み立てに関しては、全ての市民・利用者にとって心豊かな暮らしを創造する地域拠点としてプリズムホールが機能するよう、基本理念に沿い、下位の方針へブレイクダウンする形で組み立てた。各事業へのつながりはフロー図のとおりであり、その通り展開することができた。「公演事業」「人材養成事業」「普及啓発事業」の中の個々の事業は、実績報告書の個票にある通りそれぞれの上位方針に則して、目的・対象者を明確にして企画し、実施できた。



＜3. 予定通りに事業が進められていたか＞

事業推進していく中で、当初設定した理念と目的～戦略の流れを見失わないように、企画書を目的・実施概要、販売戦略・目標等順を追って書き込む様式にリニューアルした。事業がスタートしてからは、企画書を随時チェックしながら進め、企画制作会議（2回/月）で各担当者が事業進捗状況について確認し、課題を共有、実演家団体と連携を図り進めた。それにより予定通りの推進と予定した目標レベルに概ね達するマネジメントができた。（文字数544字）

助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。

＜1. 総括＞

達成した。下記の通り継続的に認められた。

＜2. 文化的意義＞

開館当初から貸館のみを行うホールではなく、芸術文化事業を企画・主催してきた。H30年度においては中期計画（H26年度策定・期間5年間）の中に、30周年記念事業を当初から予定し、例年より規模を拡大して実施した。また恒例事業においても周年記念の冠を配し機運を盛り上げた。それにより多くの来場者が館の30周年を祝福してくれた。特に30周年記念展（本助成対象外の事業）においては、30年間の事業の歴史を展示し振り返ったが、市民は当館の活動を懐かしく思い浮かべ、その時々のご自身の思い出を語って帰って行かれた。また30年間に多くの文化活動団体が生まれた。地域の館が長年市民とともにあり、市民の文化的意識や活動の向上など文化的意義が認められた。

＜3. 社会的意義＞

基本方針①に基づいて、中期計画に社会的な意義をもつ事業を設定し、継続してきた。病気加療中の方に音楽を届ける「病院コンサート」やアウトリーチで授業を届ける「芸術文化の課外授業」などは15年前から始め、今も継続している。H30年度においては、障がい者・妊婦・乳幼児など誰もが鑑賞しやすい「フレンドリーコンサート」を新規に立ち上げた。また「リズム@プリズム」では、赤ちゃんから高齢者まで、男女の別、障害の有無の別関係なく、同じ舞台の上に立ち、一緒に一つのダンス作品を創り上げた。これらを通じて、鑑賞者側においても、多様な方々が客席に一緒にいることで、それがごく普通、当たり前のことであると認識する共生社会の感覚が醸成された。また、参加者側においても「違い」を否定や問題ととらえず、一緒に協働する感覚が自然に生まれており、社会的意義が認められた。

＜4. 経済的意義＞

基本方針④に基づいて、中期計画に経済的な意義をもつ事業を設定し、継続してきた。H30年度においては、「プリズム運営ネットワーク」や周年記念事業である「地域の魅力発信事業」などで、観光、産業など地域の団体と連携した。「地域の魅力発信事業」では、メインホールで地元ゆかりのアーティストを起用したコンサートを実施し、他全館を使って市内23店舗と連携して物産展を行なった。観光協会を始めとした市内の要となる各団体とは、「プリズム運営ネットワーク」事業により交流を深め、さまざまな事業に対して協力関係が築ける環境を作った。また近隣商店街との連携もしており、当館会員は買い物や飲食時に特典が受けられるようにした。これらの事から経済的意義が認められた。（文字数1042字）

【有効性】

自己評価

目標を達成したか。（800字）

<1. 総括>中程度達成した。指標13のうち7件が達成、6件が未達成であった。未達成6件のうち4つが、同タイプのアンケート（今回初めて設定）から得た物である。1つの設問に対し多く（7～8個）の選択肢から選ぶタイプであったため結果が割れた。中には目標値も高すぎた（90%）ものがあった。これにより目標値まで達しにくい状況を生んだと分析する。今後は目標値の妥当性、選択時の傾向も考慮し、より適切な指標・目標設定をしたい。

<2. 公演事業>

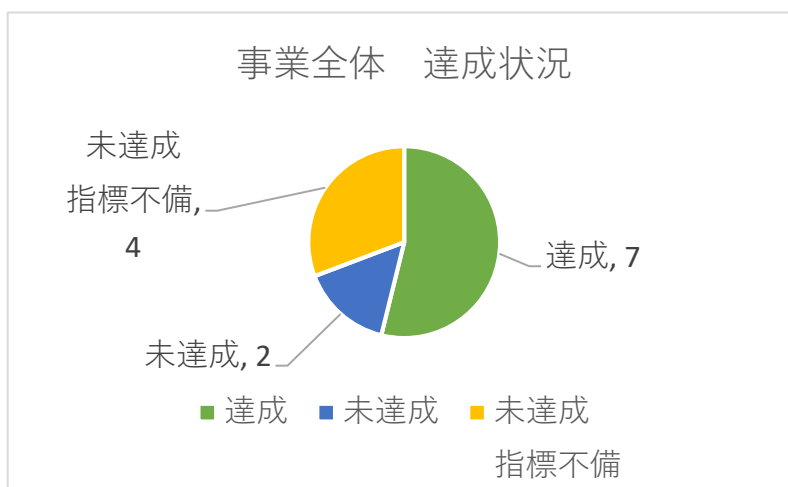
中程度達成した。地域拠点契約事業では青少年、一般市民向けの普及啓発事業を併設することにより、鑑賞とともに芸術家に親しむ機会を創出した。子どもの鑑賞促進事業ではプログラムを演奏者とともに練り上げ、来場者アンケートでは鑑賞意欲の向上に一定の成果を得た。地域の魅力発信公演事業では、地域オリジナル曲を市民がアーティストと共演、八尾ゆかりのアーティストによる公演を実施するなど、オリジナリティの高い事業を実施した。全6指標のうち、2件達成できた。未達の4件のうち2件は上記総括に記載のとおりであるため、「中程度」とした。

<3. 人材養成・普及啓発事業>

概ね達成した。人材養成事業では地域での公演を多数開催し、特に吹奏楽においては、コンクールでの成績が全体的に向上するなど、次世代の実演家を育成できた。市民ボランティアについては多様な体験機会によりスキルアップがなされた。インターンシップ生は、学校では得られない体験をする機会を提供でき、満足度は100%と非常に高かった。全3指標すべて達成した。

普及啓発事業では、子ども向け舞台芸術促進事業や芸術文化のリーチ事業として、子どもや青少年、障がい者、貧困者、外国人、高齢者等への社会包摂を目的とした新たな工夫等の施策を実施し、目標を達成した。全4指標のうち、2件達成した。未達の2件については上記総括に記載のとおりであるため、「概ね」とした。

（文字数800字）



【効率性】

自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。
アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。（800字）

<1. 総括>達成した。全10事業のうち1事業に改善の必要性が見られたが、他19事業では期間・予算ともに当初予定通り実施できた。

<2. 実際に投入した事業期間に見合ったアウトプットであったか。>
事業期間に関しては、企画立案から出演者・講師などの相手方との折衝、事務処理等も含めて遅滞することなく、ほぼすべての事業で、予定した設定期間で行えた。特に、H30年度は当館開館30周年および八尾市制70周年であったため、記念事業に関しては当初から予定してじっくり時間をかけた。一方で、「地域の魅力発信事業」のうちの一つは、市（複数の課）・観光・メディア・市民委員などからなる実行委員会を立ち上げ、2年かけての実施となった。前年度から繋がるようプレ企画を実施し、準備を進めたため、実施期間および事務的な面で想定以上の時間がとられることとなった。地元密着でありながら、一部プロモーターが在東京であった点から、連絡・調整・合意形成にむずかしさが出た。チケット販売および協賛金集めなどにもかなり期間を要した点、改善の余地があると分析している。

<3. 実際に投入した事業費に見合ったアウトプットであったか。>
事業費収支は、館の芸術文化事業全体としては良好であった。すべての事業において、当初の設定予算から大きく違えることなく、また収支も問題なく推進できた。一方で、個々の事業では「地域の魅力発信事業」の中の1事業について収益率が伸び悩んだ。記念事業であったため事業費は当館では比較的大きなものとなっていたが、有料公演の券売が想定より進まず収支バランスを欠いた。八尾ゆかりの有名アーティストを関東から招致するための委託費と外部への業務委託費がかさみ、一般7,000円、学生6,000円という価格設定も影響して、大ホールのメインコンサートの有料鑑賞者が鑑賞者全体の56%程度にとどまり、事業費に見合ったアウトプットであったとは言い難い。

（文字数789文字）

【創造性】

自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。（合計1600字）

視点1

<総括>概ね達成した。下記1～3は達成だが、4に関しては大規模改修の措置が必要なためその点で概ねとした。

<1 ミッション、ビジョンの浸透>

ミッションは朝礼時や事業のつどスタッフで共有し、事業の参加者には開始前にアナウンスをした。ホームページではH29年度から新たにミッションページを設け掲載している。

<2 劇場・音楽堂等のキーパーソンとその成果>

館に館長と副館長（現 舞台長）を設置している。運営の全体統括および芸術文化事業に関しては館長が、舞台技術および舞台全般に関しては副館長がマネジメントし、質を担保してきた。両者の連携の下、正規の専門職員が現場にあたっている。その結果として利用者数、稼働率、収益が継続的に向上しており、満足度も高い。H29年度には地域創造大賞も受賞した。

<3 フランチャイズ団体等>

地域拠点契約団体や、地域拠点以外でも継続的かつ積極的に連携している芸術団体は多い。これにより、ワークショップや朗読、学校の授業への講師派遣など効果的にできた。芸術家と市民に参加・体験・交流の機会も提供でき、文化拠点としての役割を実行した。

<4 建物設備など>

舞台保守および修繕対応を確実にし、老朽化などの不具合発生時は職員がカバーをして、満足度の高い舞台サービスを提供できた。一方で、開館から30年経過し、根本的な大規模改修が必要となってきた。既存不適格箇所や30年間未更新の部分には、逐次その状況を市に報告した。

視点2

<1. 総括>達成した。

<1 公演の企画内容、独自性等>

H30年度は30周年記念にちなんだ企画を各芸術団体に依頼し、それぞれにテーマに合致した内容で上演した。

特別開催の周年記念事業では、宮川彬良氏による吹奏楽のコンサートと、八尾にゆかりのあるアーティストによるフェスティバルを実施。

いずれも周年に相応しくプロに市民参加も行い開催した。

地域拠点契約ではトップレベルの鑑賞機会を、多彩な関連企画とともに創出した。大阪フィルは30周年の感謝をこめて「愛」をテーマにした歌曲の公演。文学座は古川健新作「かのような私 斉藤平の一生」として、周年にちなみ主人公の人生を20年刻みで見せるドラマ。他に桂米朝一門会や宮田大チェロリサイタル、

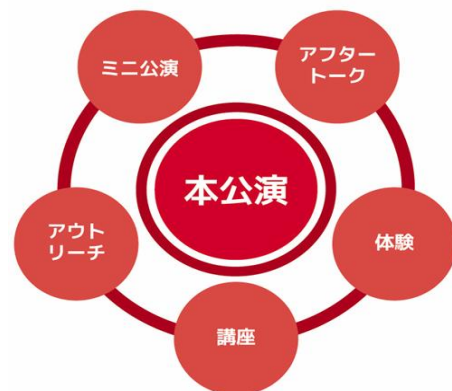
0歳児からのコンサートのいずれも30周年にそったこだわりの内容で実施することができた。満足度も集客も高かった。

<2 人材養成、普及啓発の企画内容、独自性等>

人材養成事業では、地域の中核劇場として関西全域を対象に活躍する劇団への助成事業等、4事業を実施した。

採択劇団はいずれも関東圏でも活躍し、雑誌や新聞に劇評が取り上げられ成果を上げた。普及啓発事業では、幼児・児童生徒や障害者、高齢者、妊婦などひろく芸術文化に関われる機会を提供する3事業を実施した。聴覚障害者も一緒に楽しめるコンサートとして「フレンドリーコンサート」を実施当初の想定よりもっとユニバーサルな観点で工夫できることが明らかになった。

地域拠点契約事業が八尾のまちに与える魅力



【創造性】

地域の実演芸術の振興など、地域の文化芸術の発展につながっていた（と認められる）か。

<総括>達成した。

<1 設置者など外部評価>

設置者八尾市の評価はモニタリング結果から知ることができる。H29年度はS評価。30年度はまだ出ていない。その他大阪府や地域創造から事業の採択を受けており、これらは外部評価として一定の成果であると言える。

<2 その他ステークホルダーとの関係>

地域の拠点施設として、市民や地域団体とは多くの取り組みを行った。定期的な会議等行っている。事業によって技術支援を行った。事後には反省会やアンケートにより意向を確認した。コミュニケーションは良好で、その結果、観光や市民活動支援、市民の文化活動の発展につながった。

<3 ホームページ等による発信>

H29年度にホームページを改修し、自主事業情報だけでなく、利用者のイベント情報、まちの吹奏楽情報など地域の文化活動や市民活動の発信も追加した。また連携企業のリンクを張り相互発信するなど、地域および地域文化の発展につながった。

(文字数1599字)

【持続性】

自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展した（と認められる）か。（800字）

視点 事業終了後も持続的に発展することができる劇場等の組織構築、強化、維持のための取り組みを行っているかを確認する。

＜総括＞達成した。経営戦略・人事戦略・ネットワーク構築の観点から、下記の通り組織の持続的維持と発展が認められた。

＜経営戦略について＞

概ね達成した。経営戦略は、当事業団事業計画策定時に当年度経営戦略課題として示した。理事会・評議員会で発表し、さらに年度当初の会議で館長が全スタッフに示した。H30年度の経営戦略課題は4点あり、それらを達成した。

＜人事戦略について＞

達成した。人事戦略については、次の3点として実施した。1) 運営方針を反映した人財育成基本方針とそれに基づいた育成型人事評価を実施。2) 組織横断的なプロジェクトの実施。指定管理など大きな課題解決に際して、世代を超えて組織横断的にスタッフを集めて実施。暗黙知の共有と経験値の蓄積を行なった。3) 多様な研修の実施。芸術文化事業の観点のみならず、組織運営全体を支える人材育成のための機会を多く作った。それにより少人数の組織でありながら機動的に活動し、チームワークを発揮することができた。

＜ネットワークなど劇場・音楽堂等の組織活動全般について＞

施設の公的ネットワークとして、全国公文文化施設、近畿支部会、さらにその下部の大阪府文化施設連絡協議会と地区別の東部地区会議4件に加盟・参加し情報共有や共通の課題解決を行った。

事業のネットワークとしては、事業実施時の連携のためのネットワークを事業体ごとに構築した。0歳からのコンサートは、目的に賛同した近畿の公立文化施設が連携して企画・実施した。また地域創造や宝くじ文化公演などの助成獲得を契機としてネットワークし、事業の立ち上げも行った。これらは、毎年開催でなくとも継続的に実施できている。

(文字数681字)

